

[007]附属環境工学研究教育センター研究活動報告

<https://doi.org/10.15017/7376538>

出版情報：附属環境工学研究教育センター研究活動報告. 7, 2025-07-25. Center for Research and Education of Environmental Technology, Faculty of Engineering, Kyushu University

バージョン：

権利関係：



巻頭言

ローカルでグローバルな環境課題に取り組む研究教育拠点



工学研究院長 山本元司

九州大学大学院工学研究院附属のセンターとして2018年4月に本センターが設置され、さらにセンター活動充実のため2024年4月に組織改編をおこない、現在に至っております。

地球規模の環境悪化の一つの重要な要因として、温室効果ガスの増加により地球の平均気温が上昇していることが指摘されています。このことが異常気象や海面上昇などを引き起こし、地球環境に対する大きな脅威となっています。また、行き過ぎた資源開発による自然環境破壊は人類の住環境や生物生命環境の大きな脅威にもなっております。

このような、地域における局所的な環境への影響と同時に海洋や大気など地球規模での影響が広がることは大きな問題です。サステイナブルな資源有効活用・再利用・エコシステムの構築が求められており、このためのローカルかつグローバルな視点とこれらを結び付けるインターフェース的視点での研究と技術開発がますます重要となっています。

そこで本センターでは、環境工学に関する地域課題に取り組むローカル課題研究ユニットとして三谷研究室と沖部研究室、アジアアフリカ地域の環境汚染問題や大気海洋汚染問題に取り組むグローバル課題研究ユニットとして守田研究室、今井研究室、林研究室、一部地域で発生した汚染が世界規模で運搬拡散され環境汚染を引き起こす問題などを取り扱うインターフェース課題研究ユニットとして石田研究室の各研究室を中心としてそれぞれの分野の技術開発や人材育成に取り組んでおります。

本センターにおいてはこれらローカルでグローバルな諸課題に取り組み、また九州大学における様々な研究者との連携による総合知による研究教育の一層の進展を目指す所存です。本センターの活動により一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。